

令和6年度 小千谷市立小千谷小学校 学校経営方針

校長 佐藤 浩一

<教育目標>

心をみがく

学ぶ心・やさしい心・強い心

<教育目標達成のためのスローガン>

笑顔あふれる小千谷小学校

- ◆子どもたち 「谷小で学べてよかった。」
- ◆保護者のみなさん 「谷小へ子どもたちを通わせてよかった。」
- ◆地域のみなさん 「谷小は地域の誇りだ。」
- ◆教職員 「谷小に勤務できてよかった。」



最も大切なことは、「子どもたちの笑顔」。「分かった!」「できた!」「学校は楽しいよ!」と、一人一人の子どもの笑顔があふれること。

<「チーム谷小」3つの基本方針> **愉しみながら「谷小プライド」を復活する開校157年に!**

令和6年度は、「①一人一人が自分の持ち場での『自覚と責任と覚悟』をもった指導」「②『のりしろ』を出し合う」「③自分の担当分掌から全校の子どもたちの成長を促す」「④子どもたちのやりたい意欲を大切にされた教育活動の推進」に取り組み、「日本最初の公立小学校」としての新たな開校157年目の小千谷小学校の伝統を築いていく。

1 凡事徹底

(1) 平常時の生徒指導の徹底が校内の落ち着きを維持する!

- ・「あいさつ」「丁寧な言葉遣い」「はきものをそろえる」「認める・ほめる・励ます指導」の推進

(2) 予測困難な変化の激しい時代だからこそ、「目的に立ち返ること」を大切に!

- ・「何のためにこの活動は行うのか」をみんなで考え、真に子どものためになる教育活動に。

2 よりよいものを求め続ける。



(1) 日本最初の公立小学校・谷小の伝統・よさを踏まえつつ、授業&教育活動の半歩・一步の改善を!

- ・「〇〇だからできない」でなく「どうすればできるか」を考える前向きさを大切に。

(2) 「業務改善」と「よりよい教育活動」どちらも大事! みんなで創意工夫を!

(業務改善は、教職員の専門性や熱意と使命感を高め、子どもの個性を輝かせるために!)

- ・「好事例から学ぶ」「やれることからすぐやる」をキーワードに業務改善を推進

3 情報を共有し、チームで対応する。

(1) 小さなことでもおろそかにせず、生活指導主任・学年主任等に確実な情報提供や確認を!

- ・個人で安易に判断をせず、学年や対応委員会等のチームで考え、よりよい対応を。

(2) 学年の子どもたちを学年担任全員で育てる意識を! 学級経営から学年経営への意識改革!

- ・学年内交換授業(道徳のローテーション授業&教科担任制)のより一層の推進